

NEWSLETTER

TU·NA·GA·RU

2024.5
No.04

京都大学業務支援室

人・仕事・社会 障害者雇用で「つながる」を実現する

宇治キャンパスに業務支援室宇治分室を開室しました



宇治キャンパスに業務支援室宇治分室を開室しました

業務支援室（人事部職員育成課）は、本学の WINDOW 構想（Diverse and Dynamic）におけるダイバーシティ推進のもと、障害者雇用の促進の一環として 2018 年 4 月に設置されました。吉田キャンパスに事務室と業務室を置き、本学に採用された障害者の業務指導、定着支援、雇用部署支援を通じて、障害者就労の実現と障害者雇用の促進・安定を図ってきました。この度、4 月に宇治キャンパスに宇治分室を開室しました。宇治分室では業務内容を限定せず、宇治キャンパスの教職員からの様々な業務依頼に可能な限り対応する方針です。



宇治分室の体制

指導員 1 名と室員（労務補佐員）3 名が常駐しています。室員はそれぞれ障害を持っていますが、基本的なコミュニケーションやビジネスマナーに問題はなく、宇治キャンパスで働くことに日毎に慣れて、手ごたえと喜びを感じています。研究所・研究室の教員からの依頼にも対応しています。「できれば誰かにお願いしたい仕事」「いつかやろうと思っている仕事」がありましたら内容や量に関係なく、是非ご相談下さい。

ルーチン業務・スポット業務

業務は、通年や一定期間を通じて曜日・回数を特定して行うルーチン業務と依頼事項発生時に対応するスポット業務、いずれも対応が可能です。まずは電話やメールで業務のおおよその内容を問い合わせ頂ければ、対応の可否について回答します。可能と判断した場合は、その後、指導員が依頼部局に伺い、詳細な業務の方法や納期について打合せをします。※環境美化業務につきましては、ルーチン業務ではなくスポット業務としてのみ対応可能です。

名刺作成業務

全学対応業務として「名刺作成業務」を担当しています。宇治地区の教職員からの名刺依頼は、今後、業務支援室宇治分室が一括して対応します。依頼方法については、これまでと同じです。学内便の時間が短縮され、より早くお届けできるようになります。

連絡先

HP : <https://gyoumu-shien.adm.kyoto-u.ac.jp>

E-mail : gyoumu-irai@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（業務依頼）

E-mail : gyoumu-meishi@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp（名刺依頼）

TEL : 0774-38-3708（内線 17-3708）

住所

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

宇治地区研究所本館 N 棟地下

N-041N 室（構内マップ 27）



業務依頼事例

附属図書館宇治分館：

- ・蔵書調査（バーコード読み取り）
- ・館内環境美化（書架・書庫の清掃）

施設環境課：

- ・工事写真の分別
- ・データ入力

総務課：

- ・給与明細仕分け
- ・物品貸し出し
- ・N 棟 3 階ラウンジ環境美化
- ・廃棄 PC のハードディスク・メモリ取り出し

防災研究所：

- ・古紙・廃棄資料結束と運搬

化学研究所：

- ・研修施設利用前の会場チェック

対応可能な業務

- ・研究資料 PDF 化
- ・研究論文体裁チェック
- ・テープ起こし
- ・封入（宛名照合有） など



イラスト…ハルちゃん

京都大学業務支援室の役割 3 USR (University Social Responsibility)

業務支援室の取り組みをもとに、障害者雇用の新たなモデルを発信します。

講演・研修実績

- 2021 年度 京都市立特別支援学校副校長会就労研修講話
- 2022 年度 「第 30 回障害のある市民の雇用フォーラム」 基調講演
- 2023 年度 京都障害者職業センター就業基礎講座研修講師
- 2021-2023 年度 一般社団法人キッズブローカープロジェクト
「私らしい仕事発見ツアー」 協力



支援学校、就労支援事業所、就労継続支援事業所、各関係機関からの実習受け入れを行い、障害のある人のさまざまな「働きたい」意欲をサポートします。

就職応援プログラム

職場見学

工作中に室員の様子を間近で見学して、環境・人・仕事など、職場の雰囲気を感じてもらいます。

仕事体験

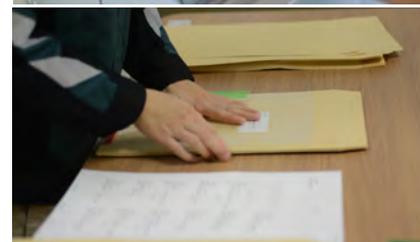
実際に業務支援室の仕事にチャレンジ、指導員と室員の指導の下、封入業務や PC 業務を行います。仕事体験後は、働く先輩の室員から仕事の話聞いて、直接質問することもできます。

就職目標実習

就職活動を開始する人向けの実習。主に職場適用力の見極めを行うことが中心になります。ワークサンプル幕張版 (MWS) を活用した作業・事務実習を含みます。(実習内容・期間は本人と支援機関と相談の上決定)

実習受け入れ実績

- 京都市立鳴滝総合支援学校・京都市立白河総合支援学校
- 京都市立東山総合支援学校・滋賀大学附属特別支援学校
- 京都府障害者高等技術専門学校・就労継続支援 B 型事業所
- 就労移行支援事業所 多数



実習受け入れ事例

就職目標実習 (3日間)

2023 年 12 月 20 日から 22 日までの 3 日間、複数の就労移行支援事業所から 4 名の実習生を受け入れました。スケジュールは、1 日目に労務系環境美化業務、2 日目に事務補助・軽作業業務、3 日目はデータ入力・書類作成業務を行いました。

事務職のイメージは、机に座り PC に向かって、終日データ入力をしていると考えている人が多いですが、実際に事務業務は多岐にわたっていて、体力、気力、集中力が思っている以上に必要です。そのことを実感してもらえるように実習プログラムを組みました。実

習ではスキルよりも、対人やコミュニケーションを含めた職場環境と自分の障害特性のマッチング具合を探り、今後の事業所での訓練や就活の職場選びを明確にしてもらうことを目的としています。つまり、できることより、できないこと、本当に配慮が必要な特性は何かを考えられるような実習です。

部局採用の障害者雇用職員の話

3 日目の午後は実習の一環として、実習生と同じ就労移行支援事業所出身で現在は本学で事務補佐員として勤務している S さん (医学研究科) の話と質疑応答がありました。(次ページへ続く)

京都大学業務支援室の役割 3 USR (University Social Responsibility)

就職目標実習 (3日間)

(前ページより続く) 初めに S さんから、現在の仕事内容と職場環境、自身の障害と合理的配慮について説明がありました。また働くにあたっては、障害の自己理解、例えば自分にはどんな症状があってどんな対処法が必要か把握することが大切であること、それらを職場で上手く伝えると自分も働きやすいし周りも安心できること、とにかく報・連・相が重要であることを話されました。

その後、実習生から S さんへ、「就労移行支援事業所での訓練と実際に働くことの違い」、「仕事の後の疲労度」、「通院の頻度」、「リフレッシュ方法」など、数

多くの質問がありました。最後に濱野副室長からも、事前に自分の障害や困っている事実はありのままに伝えること、どんなに小さなことでも困っていることは早めに相談すること、そして支援機関のフォローアップを受けることが長く働くために大切であると話がありました。



就労移行支援事業所との連携特別実習

2024年5月1日より、連携する就労移行支援事業所「INCOP 京都九条」から労務業務限定の特別実習を受け入れました。計19名の実習生が参加しました。普段は部署からの環境美化業務の問い合わせに業務支援室では充分に対応できないことも多く、今回はその要望にお応えできる機会と考え、実習依頼のあった事業所と環境美化業務希望部署をマッチングしました。特別実習では教育学研究科と附属病院の敷地の環境美化を行いました。

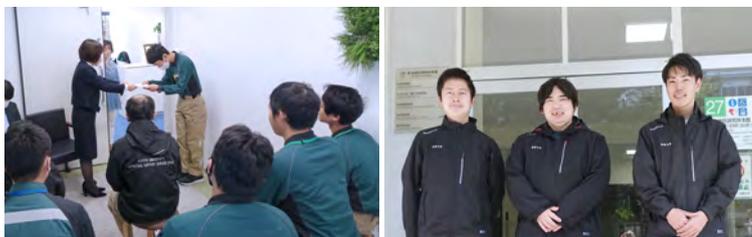
特別実習の感想

● 実習生の皆さんと草抜きや窓ふきをして歩道や窓がきれいになりました。京大の方や病院関係や来られる方に喜んでもらえるのもとても嬉しいです。(10代

知的障害) ● はじめは色々と不安だけでしたが、自分たちがこういった小さな積み重ねを行なっていくことで病院構内の衛生環境が良くなってそこで働いている方々が気持ちよく過ごせたらいいなと感じています。(20代 精神障害) ● 外での掃除は同じ実習生や指導してくれるスタッフと協力していく中でコミュニケーションを取って連携を取ること、効率性を考えて動くことの難しさなどを改めて実感し、学ぶことができました。指定された時間、目標を達成するにはどうしたら良いかを考えながら日々の清掃作業に挑んでいます。その中で、実習生同志がコミュニケーションを取って行なう作業は難しいと思いつつも、終わったときの達成感はこちらでしか味わえないものだと私は思っています。残りの活動する日を少しでも成長できるように頑張っていきたいです。(20代 知的障害)

室員 NEWS

4月1日付で1名の室員が業務支援室に入室しました。また1名の室員が法学研究科に異動になりました。5月1日付で3名の室員が業務支援室宇治分室に入室しました。



編集後記

宇治分室開室と業務支援室の役割である社会貢献について特集しました。発行間際に二転三転しましたが、無事発行することができました。次号では新連載も始まる予定です。(広報担当 S)

京都大学業務支援室

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL : 075-753-2063 FAX : 075-753-2069
<https://gyoumu-shien.adm.kyoto-u.ac.jp>

